

医政総発0627第2号
薬食安発0627第2号
平成25年6月27日

公益社団法人日本臨床工学技士会会長 殿

厚生労働省医政局総務課長
(公印省略)

厚生労働省医薬食品局安全対策課長
(公印省略)

医療事故情報収集等事業第33回報告書の公表について

医療行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。
医療事故情報収集等事業につきましては、平成16年10月から、医療機関から報告された医療事故情報等を収集、分析し提供することにより、広く医療機関が医療安全対策に有用な情報を共有するとともに、国民に対して情報を提供することを通じて、医療安全対策の一層の推進を図ることを目的として実施しており、今般、公益財団法人日本医療機能評価機構より、第33回報告書が公表されました。

本報告書における報告の現況等は、別添1のとおりです。また、別添2のとおり、再発・類似事例の発生状況が報告されています。

貴職におかれましては、同様の事例の再発防止及び発生の未然防止のため、本報告書の内容を御確認の上、別添の内容について留意されますとともに、貴会会員に対して、周知方お願いいたします。

なお、本報告書につきましては、別途、公益財団法人日本医療機能評価機構から貴職宛に送付されており、同機構のホームページ(<http://www.med-safe.jp/>)にも掲載されていますことを申し添えます。

医療事故情報収集等事業 第33回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：平成25年1月～3月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

		平成25年			合計
		1月	2月	3月	
報告義務 対象医療 機関	報告件数	266	203	311	780
	報告医療 機関数	156			
参加登録 申請医療 機関	報告件数	38	4	28	70
	報告医療 機関数	28			
報告義務対象医 療機関数		273	273	273	-
参加登録申請医 療機関数		660	667	671	-

第33回報告書 39～42 頁参照

表2 事故の概要

事故の概要	平成25年1月～3月	
	件数	%
薬剤	61	7.8
輸血	2	0.3
治療・処置	214	27.4
医療機器等	20	2.6
ドレーン、チューブ	58	7.4
検査	38	4.9
療養上の世話	287	36.8
その他	100	12.8
合計	780	100.0

第33回報告書 48 頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：平成25年1月～3月に発生した事例)

- 1) 参加医療機関数 1,107 (事例情報報告医療機関数 607 施設を含む)
- 2) 報告件数 (第33回報告書 64～70 頁参照)
 - ① 発生件数情報報告件数：157,646 件 (報告医療機関数 474 施設)
 - ② 事例情報報告件数：8,007 件 (報告医療機関数 84 施設)

2. 医療事故情報等分析作業の現況

従来「共有すべき医療事故情報」として取り上げた事例に、さらに分析を加え、「個別のテーマの検討状況」の項目で取り上げています。今回の個別のテーマは下記の通りです。

- (1) 血液浄化療法 (血液透析、血液透析濾過、血漿交換等) の医療機器に関連した医療事故 【第33回報告書 92～108 頁参照】
- (2) 血液凝固阻止剤、抗血小板剤投与下 (開始、継続、中止、再開等) での観血的医療行為に関連した医療事故 【第33回報告書 109～134 頁参照】
- (3) アドレナリンの希釈の呼称に関連した事例 【第33回報告書 135～147 頁参照】

3. 再発・類似事例の発生状況 (第33回報告書 148～174 頁参照)

これまで個別テーマや「共有すべき医療事故情報」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が発生したものを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例は下記の通りです。

- (1) 「製剤の総量と有効成分の量の間違い」 (医療安全情報 No. 9) 【第33回報告書 151～156 頁参照】
- (2) 「MRI 検査室への磁性体 (金属製品など) の持ち込み」 (医療安全情報 No. 10) 【第33回報告書 157～165 頁参照】
- (3) 共有すべき医療事故情報「ベッドのサイドレールや手すり (第13回報告書) 【第33回報告書 166～174 頁参照】
に関連した医療事故」

*詳細につきましては、本事業のホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。